

24 年度 氷見市教育総合センターだより 第 7 報

メールアドレス kyouikukenkyu@city.himi.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.city.himi.toyama.jp/hp/menu000000500/hpg00000416.htm>

『ひみっ子の夢と希望』きらめき推進事業

演題 「TVドラマ制作の舞台裏」

講師 NHKチーフ・プロデューサー 屋敷 陽太郎氏



去る 11 月 6 日（金）午後、市民会館で市内中学校第 2 学年生徒約 490 名を対象に講演会を実施しました。講師は、氷見市藪田出身で、現在、NHKチーフ・プロデューサーとして大河ドラマの制作に携わっておられる屋敷陽太郎氏です。

屋敷氏は、生徒たちに、大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の一場面の映像から城や馬、田園の様子など普通にはないものや現在との矛盾点を探させたり、「平清盛」の一場面の映像から現在使っていない言葉の台詞を見つけさせたりしながら時代劇のドラマを制作するときの時代構成の工夫や苦勞、プロデューサーの仕事などについて分かりやすく話され、生徒たちは、興味深く聴いていました。

屋敷氏からは、生徒たちに「進路を考える際、自分が好きか嫌いかを大切にされた方がよい」ことや「都会で仕事をしながら、富山のことをよく知っておくことが大事である」などのメッセージもあり、生徒たちにとって、将来について考えるひとときとなりました。

心に響いた道德の授業

～「わたしのいもうと」から～

11 月 13 日、灘浦中学校の学校訪問研修会。いじめを扱った道德の授業を参観しました。資料名は「わたしのいもうと」。児童文学作家の松谷みよ子氏に寄せられた実話（いじめられた妹のこと）に基づいた詩。この資料を使って段證教諭が 2 年生を対象に授業を行いました。

電子黒板で絵本を写し、この資料が実話であることを告げてから心を込めて範読。しーんと聞き入る 22 名の生徒。

最初に投げ掛けた発問は、「いもうとが最後に残した手紙には何と書かれていたのだろうか？」

手紙形式のワークシートに書いた後、19 名の生徒が立って自分の考えを述べる。家族や級友、自分に向けて書いた思いを、それぞれの生徒が手紙に託して語り合う。



その後、段證教諭が封筒に入れた「いもうと」の実際の手紙を、一人一人の生徒に手渡す。じっと見入る生徒。今度は、「いもうと」に宛てて自分の思いを書き、いじめの悲惨さを語り合う。


終末は、

「わたしのせいじゃないーせきにんについてー」（※1）を 1 ページ 1 ページ静かにプロジェクターで投影し、「この中にあなた自身はいないかな？」と問い掛け、余韻をもって終わる。

授業後、廊下に並べられていた松谷さんの絵本を、再度じっと見入る生徒。

一つ一つの場面が印象的な授業であり、教師の願いが込められた心に響く授業でした。

（※1）スウェーデンで生まれた 1 冊。人間関係の大切なテーマが扱われた絵本。（岩崎書店）



屋敷陽太郎氏の講演「ＴＶドラマ制作の舞台裏」を聴いて

参加した生徒の感想文より

私は、今日の講演で分かったことは、仕事は、自分の好きなことを生かせるということです。テレビドラマ制作では、百何十人もスタッフがそれぞれの役割をもって仕事をしています。衣装を決める人、小道具を作る人、車を運転する人などすごくたくさんの種類があるそうです。だから、自分の得意なことや好きなことをテレビ制作の仕事の一つとして生かして働くそうです。

このことを聞いて、自分の得意なことや好きなことは、仕事として生かせるのだと思いました。そして、自分がそのことを好きか嫌いかわかることは大切だと言っておられました。だから、私はたくさん勉強して、自分の好きなことを見つけたいです。そういうことを生かして将来仕事をしたいです。 (南部中学校 女子)

ドラマ制作は、1分間を撮影するのに1日もかかると知って、とても大変な仕事だということ、また、大河ドラマは世代や性別、地域のバランスが大事でどこの地域の人でも楽しめる作品をつくるのは難しいこと、古い言葉だと現代の人には伝わらないし、かといって今の言葉だと時代劇っぽくならないので、「戦争」という言葉を「いくさ」に変えるなどの工夫をしておられることを知りました。

私は、まだ将来どんな仕事がしたいか決まっています。だから、好きか嫌いかわかると判断して自分がしたい自分の好きな仕事を見つけていきたいです。自分の「好き」を大切に人にならなれないようにしたいです。

(西部中学校 女子)

私は「何かを作り、みんなに喜んでもらう」という職業に小さい頃から憧れていました。自分なりに「制作する」職業について調べたことがあるので、制作にはとても多くの時間と人、努力が必要なことを知っているつもりでした。でも、今日の講演を聴いて、世代・性別・地域などのバランス、音、全体のイメージ、歴史的な言葉遣いや小道具などとても多くのことに気を配って行っておられることを知り驚くと同時に自分の考えの甘さを感じることができました。仕事の大変さを知る良い機会でした。

私も屋敷さんのように、自分のなりたい夢をかなえるため、そして活躍するために頑張っていきたいです。

(灘浦中学校 女子)

屋敷さんの講演を聴いて、ドラマをつくるのにたくさんの人の協力とたくさんのお金が必要なことや夢は何かに興味をもつことから始まることが分かりました。屋敷さんは「僕は父が厳しくて、あまり好きな映画を見られなかった」と言っておられたので、映画を見られなくてもあきらめなかったことがすごいなと思いました。屋敷さんは、チーフ・プロデューサーとして、台本の内容をチェックしたり、ドラマに使う道具を準備したりするのが仕事だと話しておられましたが、全国の人に、わくわくするようなドラマをつくって届けることではないのかなと思いました。

この講演で、夢をもって働くことについて考えることができたので良かったです。 (北部中学校 男子)

私が将来なりたい職業はまだ決まっていますが、講演会の最後に屋敷さんがおっしゃっておられたように、人に流されず好き嫌いははっきりさせ自分の意志を大事にし、バックボーンを語れるようなカッコいい大人になりたいです。そのために、子どもの時から勉強をたくさんすることが必要だと思いますし、大人になった時に「楽しかった」といえる思い出を今のうちにたくさんこの氷見でつくっておきたいと思います。

私は、氷見高のビジネス科に入って、卒業したらすぐ就職したいと思っています。私は早く親に恩返しをしたいのです。早く大人になりたいですが、子どものうちにいろんなことを勉強して大人になりたいと思っています。

(十三中学校 女子)

私は、この講演を聴いて、仕事では基本的なマナーをしっかり守ることがとても大切だと学びました。テレビの仕事は、手間とたくさんの人の協力が必要で、遅刻してしまうとその苦勞が台無しになり、迷惑になるので、テレビの仕事だけでなく学校生活や将来就く仕事でも絶対に遅刻しないように心がけていきたいです。講演の最後では、「どちらが正しいかではない。好きか嫌いかわか自分が決めることで人に流されるな。自分の感性を大切に。」という言葉いただきました。私は、この言葉がとても心に残ったので忘れずに、これからの将来に生かしたいです。

今回の講演は、多くのことを学べる貴重な体験になりました。

(西條中学校 女子)

小・中学校学習指導要領のキーワードから小中連携教育を推進！

小中間の指導事項を系統的に見直すことによって、担当する学年で指導すべき事項や、どのように発展的に扱われていくかが分かってきます。この表を小中連携教育推進の際にお役立てください。

○ 算数・数学用語・記号系統表

領域 学年	数と計算	量と測定	図形	数量関係 (式の表現と読み)	
小学校	1	一の位、十の位 + - =		+ - = (加法及び減法の式)	
	2	> < ×	単位 (mm, cm, m ml, dl, l 日 時 分)	直線 直角 頂点 辺 面 × (加法と減法の相互関係、乗法の式、()や□を使った式)	
	3	不等号 数直線 等号 ÷ 小数点 1/10の位 分母 分子	(km g, kg, t 秒)		÷ (除法の式、式と図を関連させる)
	4	和 差 積 商 以上 以下 未満 真分数 仮分数 帯分数	(cm, m ² , k m ²)	平行 垂直 対角線 平面	(四則の混合した式、公式についての考え方と公式の活用)
	5	最大公約数 最小公倍数 通分 約分	(cm, m ³)	底面 側面	比例 % (数量の関係を表す式)
	6			線対称 点对称	: (文字 a, x などを用いた式)
学年 領域	数と式		図形	関数	資料の活用
中学校	1	自然数 符号 絶対値 項 係数 移項 ≤ ≥	弧 弦 回転体 ねじれの 位置 π // ∠ ⊥ △	関数 変数 変域	平均値 中央値 最頻値相 対度数 範囲 階級
	2	同類項	対頂角 内角 外角 定義 証明 逆 ≡	変化の割合 傾き	
	3	根号 有理数 無理数 因数 √	∞		全数調査

※「小学校学習指導要領算数科」「中学校学習指導要領数学科」(用語・記号)より引用し作成

○ 小・中学校「B書くこと」の指導事項系統表 小・中学校学習指導要領より

	小学校			中学校		
	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年	第1学年	第2学年	第3学年
課題 材設 定	・経験したこと や想像した ことなどから	・関心のあること などから ・相手や目的に 応じて	・考えたことな どから ・目的や意図に 応じて	・日常生活の中 から	・社会生活の中 から ・多様な方法で 材料を集める	・社会生活の中か ら ・取材を繰り返 しながら
構 成	・事柄の順序 に沿って簡単 な構成に	・段落の役割を 理解し、段落相 互の関係などに 注意して	・考えを明確に 表現するため文 章全体の構成の 効果を考える	・段落の役割を 考える	・自分の立場及 び伝えたい事実 や事柄を明確に して	・文章の形態を選 択して適切な構 成を工夫する
記 述	・語と語や文 と文の続き方 に注意 ・つながりの ある文や文章 を	・中心を明確に 理由や事例を挙 げて ・敬体と常体の 違いに注意する	・事実と感想、 意見などと区別 ・引用したり図 表やグラフなど を用いたりする	・自分の考えや 気持ちを根拠を 明確にして	・相手に効果的 に伝わるように 説明や具体例を 加えたり描写を 工夫したりする	・論理の展開を工 夫し資料を適切 に引用し、説得力 のある文章を書く
推 敲	・読み返す習 慣を付ける ・間違いなど に気付き直す こと	・間違いを正し たり、よりよい 表現に書き直し たりする	・表現の効果な どについて確か めたり工夫した りする	・表記や語句の 用法、叙述の仕 方など確かめて 読みやすく分か りやすい文章に	・語句や文の使 い方、段落相互 の関係などに注 意して	・文章全体を整え る
交 流	・読み合い、 良いところを 見付け感想を 伝え合う	・発表し合い、 考えの明確さな どについて意見 を述べ合う	・発表し合い、 表現の仕方に着 目し助言し合う	・題材の捉え 方、材料の用い 方、根拠の明確 さなどについて 述べ合い参考に	・文章の構成や 材料の活用の仕 方について意見 を述べたり助言 したりして	・論理の展開の仕 方、表現の仕方 などを評価して、 自分の表現に役 立てる

※「小学校学習指導要領国語科」「中学校学習指導要領国語科」「B書くこと」の指導事項より引用して作成



第1回は、比美乃江小学校6年生が宮林次美先生の指導のもと、学級活動「放射線から身を守るためには」の授業を公開しました。児童は、グループごとに簡易放射線検知器を使って、身の回りの放射線量を測定し、身の回りにも放射線が出ていることを実感していました。その後、大量の放射線が出たときにどのように身を守ればよいかを考えていました。

公開授業の後、参加者は、サイエンス・プロデューサーの戸田一郎先生より放射線についての講演と実技指導を受けました。霧箱内に飛び交う放射線の飛跡を見て、「わあ、すごい」とロ々に感動の言葉が聞かれました。



第2回では、北部中学校3年生理科「エネルギー資源の利用」の授業が新田稔先生の指導で実施されました。放射性物質から遠ざかれば放射線量は低くなること、放射性物質と簡易放射線検知器の間に遮蔽物を置けばさらに放射線量が低くなることを実験から捉え理解していました。



授業後、参加者は、小中学校教員混合の3つの班に分かれて協議会をもち、放射線の指導について話し合いました。



また、北部中学校校長湖東政俊先生に指導助言をしていただき放射線の指導についての理解を深めることができました。

今後は、各学校に配布された簡易放射線検知器や霧箱等の実験用具を使って、各校の防災教育計画にあわせて放射線に関する指導を行ってください。

新着図書を紹介

教室でできる 特別支援教育のアイデア 中学校編

授業におけるLD、AD/HD、高機能自閉症の支援 <月岡久江 編集 図書文化>
(教科指導ごとや生徒の障害に合わせて活用できる支援の具体例が紹介してあります。)

絵本 わたしのせいじゃないーせきにんについてー

<レイフクリスチャンソン 著 岩崎書店>

(小さい子どもでも読める簡単で短い絵本です。いじめについて考えさせられる内容で、道徳の資料としても使えます。)

絵本 わたしのいもうと

<松谷みよ子 著 偕成社>

(作者に届いた手紙からつくられた実話の絵本です。いじめについて考える道徳の資料としても使えます。)

ルポ子どもの貧困連鎖 教育現場のSOSを追って

<保坂渉・池谷孝司 著 光文社>

(保育園児から高校生までの子どもたちが直面する貧困の現場を記した1冊です。)